

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 明成会

目 次

1	事業総括	1～10 頁
2	障害者支援施設オイコニア	11～24 頁
3	相談支援事業所オイコニア	25～26 頁
4	デイサービスセンター緑林荘	27～29 頁
5	デイサービスセンターさくら貝	30～32 頁
6	四万十町地域包括支援センターランチさくら貝	33 頁
7	居宅介護支援事業所りよくりん	34～35 頁
8	職員研修	36～37 頁
9	配食サービス事業	38 頁
10	宿舎運営事業	39 頁

平成28年度 事業報告（総括）

社会福祉法人制度改革では、▽経営組織のガバナンスの強化、▽事業運営の透明性の向上、▽財務規律の強化、▽地域における公益的な取組みを実施する責務が主な改正事項となり、本年度は外部研修への積極的な参加と情報収集に努め、役職員が制度の背景や意義、内容を理解するため法人内部の研修会を実施するとともに、定款変更等については理事会・評議員会において検討し、改正社会福祉法の平成29年4月1日施行に向け取組んだ。経営組織の見直しとして、評議員・評議員会、理事・理事会、監事の職務や責任、権限が明確になり、現評議員の3月末の任期満了後の新評議員を、「新」定款に基づき再任評議員5名を含む11名を評議員選任・解任委員会において選任した。

また、社会福祉法人には高い公共性と非営利性にふさわしい財務規律が求められるなか、社会福祉充実残額については、算定した結果、社会福祉充実残額は生じなかった。

障害者グループホーム設置に向けた取組みでは平成26年度から検討を始め、平成28年3月に高知県の補助金交付が決まり、今年度は建築工事に着手し、明成会の新たな事業として来年度から運営することとなった。4月に住民説明会を行い、8月に建築工事の入札（落札：小松建設株式会社）を実施、9月1日に建築工事着工後、9月13日に地鎮祭・起工式を行った。工事期間中は建築設計事務所、施工業者等と定期的に工事の打合せを行い、進捗状況の確認と要望を反映しながら工事が進み、3月22日に引渡しを受け、4月1日には竣工式・落成祝賀会を四万十農協会館において四万十町長や工事関係者、各関係機関等の出席のもと開催することができた。建築工事費110,481千円、設計・監理費、備品等を含めた総事業費は125,024千円については、高知県障害児・者施設整備事業費補助金21,600千円と独立行政法人福祉医療機構から30,000千円の借入、内部の積立金取崩62,359千円を行なった。施設の名称については、理事会等で検討を重ね、“笑顔が溢れ、和やかな雰囲気づくり”を目指し『笑和（わらわ）』と名付けた。今後、障害者の福祉ニーズが多様化・複雑化するなか、地域に中での生活の場として、また福祉施設入所者の地域生活への移行促進につながるものと確信している。

今年度、重点的な取組みとしたリーダー養成研修は、2年計画で次期リーダーとして期待する20～30代の職員6名を対象に、外部講師による専門的な研修を年間3回実施してきた。今年のテーマを“人づくりを学ぶ”として人材育成の基本と実践方法、キャリア形成等について受講し、年度末には明成会における「人づくり」について論文を執筆するに至った。来年度も継続するこの研修がリーダーとしての礎になるものと期待している。

また、地域における防災活動として、福祉避難所運営訓練を通じて仁井田地区の自主防災組織と連携を図る必要性から、今年度から積極的に仁井田地区自主防災組織の活動に参加するなか、11月に第2回福祉避難所運営訓練を実施することとなった。当日は地域住民の15名の他、各関係機関の参加もあり福祉避難所を開設するための受入準備に重点においた訓練を実施することで、様々な課題が明らかとなった。より多くの地域住民の方に参加してもらえるような工夫と日頃からのつながりの強化に努めることが必要となった。

明成会の経営理念・経営方針のもと平成27年度から3か年計画で経営目標を達成するため、

2年目の今年のお組テーマを「福祉の心と行動」としてきた。研究会や日々の業務の中で中間管理職が中心となり“基本的な仕事にお組む大切な姿勢”について何度も意識した行動と声掛けにお組んだ。さらに来年度は「福祉と夢を語る」を最終年度のお組テーマとした。

人材確保対策のお組みとして、近隣の高等学校卒業生や県内の福祉専門学校、県内外の一部の大学新卒生を対象に求人活動を行なうとともに、ふくし就職フェア等に参加し直接的な求人活動を行い、新卒生3名を確保することができた。また、看護職については、年度内に法人全体で常勤3名非常勤2名を採用することができ、法人内部の人材が整ってきた。さらに、年度末の退職者はでなかった。

《オイコニア》の施設入所支援事業では、昨年度より障害程度区分には変更が見られなかったが、ご利用者の入退所が多く見られたことによる稼働率の低下と、入院日数の増加により事業収入が減収となった。また在宅サービスの通所者と短期入所者は増加傾向にあった。相談支援事業については四万十町の委託料が増額となるとともに給付費の増収が見られた。前年度に比べ、福祉・介護職員処遇改善加算の増額にともなう期末手当の支給が増えるとともに今年度から賞与引当金を計上した結果、当期活動増減差額は前年度比約25%減となったと考えられる。

《介護保険事業》「緑林荘」では、介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、要介護者以外の利用者数の変更はないが、収入の減少が見られた。また、要介護者の利用者数の若干の低下もあり約5%の減収となったが、人員配置を減らし加算の取得を見直したことにより人件費支出が抑えられ、サービス活動増減差額は前年度比約3%増えた。定員規模から収益率が高いこともあり、安定した経営を行うことができた。「さくら貝」は、利用者数の増加と要介護度の重度化にともない約3%増収となるが、必要な人員配置により人件費が伸び、サービス活動増減差額の前年度比約13%減少した。また、来年度以降、地域包括支援センターブランチは職員配置が整うまで休止することとなった。「居宅介護支援事業所りょくりん」は利用者数の増加により約12%増収となり、サービス活動増減差額のマイナス幅を抑えることができた。

《配食サービス事業》は10月から四万十町配食サービス事業等が始まり、低額で利用できることから配食サービスのニーズの拡大が見られた。昨年度に比べ1日平均10.7食分増え、約20%増収となり安定した経営ができた。配食数が増えたことで配食車両を1台入替え、食器類の購入など検討を重ねた。

《収益事業》である職員宿舎の運営については、平均利用率の増加と外部者の利用が増えたことにより約18%の増収となり、今年度は建物修繕費の維持管理も減少し安定した経営となったため、必要な事務手数料をオイコニアへ繰入することができた。

その他、詳細については財務報告にて報告し、以上を平成28年度の総括とする。

(1) 理事会・評議員会の開催

【 理 事 会 】

第1回 理事会 ≪平成28年5月26日(木) 午後2時00分～午後2時55分≫

＜理事：8名出席／議長：森田理事／議事録署名人：岡田理事、長谷部理事＞

第1号議案 平成27年度事業報告について

【提案理由】定款第15条第1項及び第23条の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成27年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. 相談支援事業所オイコニア
4. デイサービスセンター緑林荘
5. デイサービスセンターさくら貝
6. 四万十町地域包括支援センターランチさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 平成27年度財務報告について

【提案理由】定款第15条第1項及び第23条の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成27年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 平成28年度第1次補正予算（案）

【提案理由】定款第15条第1項及び第2項の規定による審議

障害者グループホーム建築工事等に係る資金移動

〔緑林荘拠点区分〕

〔笑和（仮）拠点区分〕

第4号議案 障害者グループホーム借入金について

【提案理由】

- i 借入額：福祉医療機構から建築工事費の一部、上限を30,000千円とした借入れの審議（償還期間は15年、月賦償還）
- ii 担 保：障害者グループホームの建物を担保提供の承認
- iii 保証人：保証人不要制度の利用（上乗せ利率0.05%）

- 報告事項 1 前回理事会・評議員会の第4号議案、投資信託会社による資産管理について
2 送迎車輛（さくら貝）の管理徹底
3 障害者グループホーム建築に向けた進捗状況

第2回 理事会 ≪平成28年7月19日（火）午後2時00分～午後3時20分≫

<理事：8名出席／議長：岡村理事／議事録署名人：森田理事、中城理事>

第1号議案 「障害者グループホーム」設計内容及び見積り金額について
【提案理由】設計内容及び見積り金額の審議

第2号議案 「障害者グループホーム」指名競争入札参加業者の選定
【提案理由】指名競争入札参加業者の審議

第3回 理事会 ≪平成28年8月30日（火）午前10時00分～午前10時45分≫

<理事：8名出席／議長：中城理事／議事録署名人：瀧澤理事、長谷部理事>

第1号議案 「(仮称) 障害者グループホーム笑和」建築工事について
【提案理由】

- 1 入札結果の承認
- 2 入札後の工事請負契約の承認

第2号議案 送迎車輛（固定資産）取得について
【提案理由】

- 1 デイサービスセンター緑林荘の送迎車輛の指名競争入札の指名業者の審議
- 2 入札後の請負契約の承認

報告事項 1 出勤中の人身事故について

第4回 理事会 ≪平成28年12月2日（金）午後2時40分～午後4時30分≫

<理事：8名出席／議長：瀧澤理事／議事録署名人：岡村理事、吉永理事>

第1号議案 平成28年度第2次補正予算（案）
【提案理由】定款第15条第1項及び第2項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[配食事業拠点区分]

[居宅介護支援事業拠点区分]

第2号議案 配食車輛（固定資産）取得について

【提案理由】

- 1 配食サービス事業の配食車輛の指名競争入札の指名業者の審議
- 2 入札後の請負契約の承認

第3号議案 定款の変更について

【提案理由】 定款第15条第1項及び第2項の規定により、平成29年4月1日社会福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う定款を変更する提案

第4号議案 「評議員選任・解任委員会運営規定」(案)の制定

【提案理由】 定款(案)第6条第3項の規定による、「評議員選任・解任委員会運営規定」を制定する提案

第5号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について

【提案理由】 評議員選任・解任委員会運営規定により、外部委員2名、監事1名の審議

- 報告事項
- 1 送迎車両の入札結果【デイサービスセンター緑林荘】
 - 2 (仮称)障害者グループホーム笑和の状況報告

第5回 理事会 <<平成29年2月9日(木)午前10時00分～午前11時40分>>
<理事:8名出席/議長:岡村理事/議事録署名人:森田理事、中城理事>

第1号議案 評議員選任・解任委員会に推薦する次期評議員候補者(案)について
【提案理由】「新」定款第6条第3項及による審議

第2号議案 グループホーム笑和「運営規程」(案)について
【提案理由】 グループホーム笑和開設に向けた「運営規程」の承認

報告事項 1 配送車輛の入札結果【配食サービス事業】

- その他
1. グループホーム笑和落成式等について
 2. 来年度の四万十町地域包括支援センターランチさくら貝の事業について
 3. 役員の損害賠償責任(会社役員賠償責任保険加入)について

第6回 理事会 <<平成29年3月22日(水)午後2時00分～午後2時55分>>
<理事:8名出席/議長:吉永理事/議事録署名人:長谷部理事、岡田理事>

第1号議案 平成28年度第3次補正予算(案)について
【提案理由】 定款第15条第1項及び第2項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]
[緑林荘拠点区分]
[さくら貝拠点区分]
[笑和拠点区分]
[配食事業拠点区分]
[居宅介護支援事業拠点区分]
[職員宿舍運営拠点区分]

第2号議案 平成29年度事業計画（案）について

【提案理由】定款第3条及び第15条第1項の第1号の規定による平成29年度の各事業区分における事業計画の審議

第3号議案 平成29年度収支予算（案）について

【提案理由】定款第15条第1項の第1号及び第22条の規定による平成29年度の各拠点区分における収支予算の審議

第4号議案 諸規程の改正について

・「給与規程」

【提案理由】扶養手当、資格手当の見直し。介護職員等の処遇改善加算の増額による期末手当の改正

・「評議員選任・解任委員会運営規則」

【提案理由】補欠委員の任期の追加及び評議員と任期を合わせるための附則の追加等の改正

・「財務会計規程」

【提案理由】社会福祉法の一部改正に伴う、財務会計規程をモデル経理規程に沿って改正

第5号議案 「評議員選任・解任委員会」委員の報酬額について

【提案理由】「評議員選任・解任委員会運営規則」第5条第2項の規定により、委員の報酬額について審議

報告事項 1 次期評議員について

3月3日開催の評議員選任・解任委員会において選任された次期評議員についての報告

【 評 議 員 会 】

第1回 評議員会 《平成28年5月26日（木）午後1時00分～午後1時55分》

＜評議員：11名出席／議長：布評議員／議事録署名人：小松評議員、岩崎評議員＞

第1号議案 平成27年度事業報告について

【提案理由】（理事会と同じ）

第2号議案 平成27年度財務報告について

【提案理由】（理事会と同じ）

第3号議案 平成28年度第1次補正予算（案）

【提案理由】（理事会と同じ）

第4号議案 障害者グループホーム借入金について

【提案理由】（理事会と同じ）

報告事項 1 前回理事会・評議員会の第4号議案、投資信託会社による資産管理について

2 送迎車輛（さくら貝）の管理徹底

3 障害者グループホーム建築に向けた進捗状況

第2回 評議員会 《平成28年12月2日（金）午後1時30分～午後2時30分》

＜評議員：12名出席／議長：岩崎評議員／議事録署名人：戸田評議員、大崎評議員＞

第1号議案 平成28年度第2次補正予算（案）

【提案理由】（理事会と同じ）

第2号議案 配食車輛（固定資産）取得について

【提案理由】（理事会と同じ）

第3号議案 定款の変更について

【提案理由】（理事会と同じ）

報告事項 1 送迎車両の入札結果【デイサービスセンター緑林荘】

2 （仮称）障害者グループホーム笑和の状況報告

第3回 評議員会 《平成29年3月22日（水）午後1時00分～午後1時55分》

＜評議員：11名出席／議長：大崎評議員／議事録署名人：佐治評議員、森評議員＞

第1号議案 平成28年度第3次補正予算（案）について

【提案理由】（理事会と同じ）

第2号議案 平成29年度事業計画（案）について

【提案理由】（理事会と同じ）

第3号議案 平成29年度収支予算（案）について

【提案理由】（理事会と同じ）

第4号議案 理事の選任について

【提案理由】定款第7条第1項の規定により、理事の辞任に伴う新たな理事を選任する審議

報告事項 1 次期評議員について

(2) 役職員の研修等に関する事業

〔障害者支援施設オイコニア〕

5月	12日(木)	}	中四国身体障害者施設協議会総会・施設長会(広島市/岡村)
	13日(金)		
	23日(月)	}	新人研修・リーダー養成研修(講師:鈴記裕幸氏)
	24日(火)		
6月	7日(火)		高知県経営者協議会総会(高知市/岡村・大崎・矢野)
	8日(水)		新任職員研修(高知市/山中・長谷川)7・8日
	20日(月)	}	新任職員研修(高知市/畠山・松井)
	21日(火)		
7月	8日(金)		高幡圏施設連絡協議会(四万十町/又川・中山・山脇)
	12日(火)		社会福社会計簿記講座初級(愛媛県/岡村)13日
	21日(木)	}	第40回全国身体障害者施設協議会研究大会 (愛知県/岡村・大崎・矢野・西村)
	22日(金)		
	29日(金)		高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎・矢野)
8月	2日(火)	}	合同職員会・リーダー養成研修会(講師:鈴記裕幸氏)
	3日(水)		
	17日(水)		社会福祉法人制度改革対応セミナー(高知市/岡村・矢野)
	19日(金)		第41回全国身体障害者施設協議会研究大会検討会 (高知市/岡村・矢野)
9月	6日(火)		安全運転管理者講習会(須崎市/大崎)
	12日(月)		障害者相談支援圏域研修(須崎市/中平・豊田)
	23日(金)		合同職員会・リーダー養成研修会(講師:鈴木裕幸氏)13日まで 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎・矢野)
10月	4日(火)		社会福社会計簿記講座中級(高知市/岡村)5日まで
	12日(水)		社会福社会計簿記講座上級(高知市/岡村)13日まで
	13日(木)	}	第41回中四国身体障害者施設職員研修大会 (岡山県/吉岡・泥谷・岩崎)
	14日(金)		
	25日(火)		人事評価者研修
	28日(金)		社会福祉法人四国地区実践セミナー(高知市/岡村・矢野)
11月	4日(金)		高幡圏連絡協議会スポーツ交流会(中土佐町/吉岡・山崎・宮脇)
	9日(水)		介護福祉士実習指導者講習会(高知市/岩崎)10日まで
	10日(木)		社会福社会計簿記講座財務管理(高知市/岡村)
	11日(金)		高知県サービス管理責任者研修(高知市/西村・豊田)
	17日(木)	}	中四国身体障害者施設協議会事務管理研修会(愛媛県/矢野)
	18日(金)		
	21日(月)		高幡ブロック精神障害者家族会研修会(四万十町)

- 29日(火) 社会福祉法人制度改革セミナー(高知市/岡村・大崎・矢野)
- 12月 7日(水) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎・矢野)
- 8日(木) 高知県サービス管理責任者研修(高知市/豊田) 9日まで
- 16日(月) 腰痛予防対策等講習会(高知市/西村)
- 19日(月) 高知県サービス管理責任者研修(高知市/西村) 20日まで
- 1月 19日(木) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎・矢野)
- 2月 15日(水) 中四国身体障害者施設協議会総会・施設長研修会(高知市/岡村)
17日まで
- 20日(月) 会計監査人非設置法人のための研修会(高知市/矢野・吉岡)
- 24日(金) 高知県身体障害者施設協議会生活部会研修会(高知市/岡村・中山)
- 27日(月) 社会福祉法人実務者決算講座(岡山市/矢野・吉岡)

〔デイサービスセンター緑林荘〕

- 6月 2日(木) } 第65回四国老人福祉施設関係者研究大会(高知市/岩崎)
- 3日(金) }
- 9日(木) 地域ケア会議(四万十町/岩崎・津野)
- 24日(金) 地域包括支援センター運営協議会(四万十町/岩崎)
- 12月 8日(木) 四国ブロックカンントリーミーティング(徳島市/岩崎)
- 1月 24日(火) } 全国老人福祉施設研究協議会議(長崎県/岩崎)
- 25日(水) }
- 2月 12日(日) 高知県老施協デイ部会(高知市/岩崎)
- 14日(火) } 四国老施協セミナー(香川県/岩崎・市川)
- 15日(水) }
- 18日(土) 四万十町デイサービス研修会(四万十町/岩崎・笠岡)
- 24日(金) 高知県老施協21世紀委員会総会・高知県カンントリーミーティング
(高知市/岩崎)
- 3月 5日(日) 社会福祉法人吾郷会研究発表大会(島根県/岡村・岩崎・笠岡)

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 6月 2日(木) } 第65回四国老人福祉施設関係者研究大会(高知市/北川)
- 3日(金) }
- 2月 14日(火) } 四国老施協セミナー(香川県/北川)
- 15日(水) }

(3) 施設・設備整備等の事業

平成28年度の施設・設備整備事業は、つぎのとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載> (千円未満切り捨て)

〔オイコニア〕

〔構築物〕

・中庭喫煙所	1,085千円
・カーポート	648千円
・駐車場舗装	1,864千円

〔備品〕

・iPad	133千円
・冷凍庫(厨房)	270千円
・体圧分布測定器	318千円
・パートナー	691千円
・サーバー(事務所)	574千円
・パソコン4台	845千円
・低床3モーターベッド10台	1,209千円
・床走行リフト3台	899千円
・車いす用体重計	230千円

〔車両〕

・ダイハツ(ハイゼット)	1,444千円
・ダイハツ(ハイゼット)	1,055千円

〔ソフトウェア〕	2,042千円
----------	---------

〔緑林荘〕

〔車両〕

・日産(キャラバン)	3,196千円
------------	---------

〔備品〕

・テレビ	320千円
------	-------

〔修繕〕

・大型サーモスタット修理	270千円
--------------	-------

〔笑和〕

〔建物〕	123,491千円
------	-----------

〔備品〕

・テレビ	317千円
・冷蔵庫	155千円
・洗濯機	166千円
・パソコン	156千円

〔ソフトウェア〕	737千円
----------	-------

〔配食〕

〔車両〕

・冷蔵庫	1,962千円
------	---------

[障害者支援施設オイコニア]

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい豊かな生活を送ってもらうためには、何が必要であるかを共に考えながらサービスの提供に努めた。また、個々の問題点やできない部分を見るのではなく、ストレングスな部分に焦点を当て個別支援計画の作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、サービス内容の充実にむけて、支援体制の構築を図りながら、日中活動支援プログラムの新たな取り組みを行い、より内容の濃い日中活動の提供を行った。居住支援事業の施設入所支援については、職員によるばらつきをなくすために業務改善に向けて見直しを行い、確認チェックを行える体制作りを確立することで標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。

短期入所サービスについては、定期利用者の利用日数の増加、及び新規利用者の確保により安定した状態ではある。しかし、満床時には希望通りの受け入れができないことがあり、調整が必要なケースが増えてきているといった状況である。

1. 相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

2. 個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

3. ライフサポートチーム

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めると共に安全・安心した生活が送れる活動を行った。

12月には各委員会が年間の活動報告をまとめ事例研究発表を行うことで、全職員が委員会活動の理解を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

4. 介護技術

「高知県介護福祉機器等導入支援事業」より3モーターベッド10台の購入をして、ご利用者の安

楽な臥床支援の充実を図った。立位可能なご利用者に対しては、微調整が利く高さ調節を行い安全に移乗できる環境設定を行うことで自立支援に向けての支援を行った。

また、職員の腰痛予防対策として床走行リフトを3台に増やし、ご利用者・職員共に負担のない安全で安楽な支援が行える環境設備を整えた。

介護技術面では、基本動作やボディメカニズムの研修を定期的に行った。

排泄については、テープ止めや尿取りパットの基礎研修を行うことで、ご利用者個々の排泄状態に合わせた支援の再検討を行い、清潔保持、安心した排泄ができるよう努めた。

5. 日中活動

定期的にご利用者にアンケートを行い、趣向を汲み取りながら日中活動内容の計画を行った。

集計結果より、参加者が多いワンコインクッキング・クックスイーツ・ボッチャの計画が充実できるように、実施できる職員を増やした。

今後も、職員の得意分野を活かし、ご利用者にも楽しんでもらえるような活動を提供していく

6. 安全対策

居室環境の改善を行い、安全に介助が行える環境を作るとともに、実際の居室の映像を使用し、危険予知トレーニングを実施した

福祉用具の使用ミスから事故が起こったこともあり、福祉用具の使用法の研修などを密に行い、再発防止に努めた

また、転倒報告書からのデータ分析を行い、どのご利用者がいつ・どんな時に・どのような転倒が起こっているのか評価を行い、安全に生活できる環境の設定を行った。

7. 懇談会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員懇談会での役員からの発言は、今年度も他のご利用者からの意見や要望を伝えるといった形は少なかった。

8. 苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は、定期的に第三者委員の巡回訪問があったため、苦情解決の体制を確保することができた。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

平成29年3月31日現在

	安芸市	高知市	香美市	四万十市	宿毛市	市部計	土佐町	いの町	日高村	梶原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	町村部計	合計
男性	0	1	0	3	3	7	1	1	0	1	5	13	2	2	25	32
女性	1	2	1	1	0	5	0	0	2	0	0	8	1	0	11	16
計	1	3	1	4	3	12	1	1	2	1	5	21	3	2	36	48

2. 障害別年齢別一覧表

	脳性麻痺		筋ジストロフィー		脊髄損傷		脳疾患による後遺症		頭部外傷後遺症		痙性麻痺による機能障害		水頭症		その他の障害		計		重複障害者				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女		
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女		
1級（A）	6	2	0	0	9	0	6	7	2	1	0	0	2	0	1	2	26	12	38	4	1	0	0
2級（B）	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	3	7	1	1	0	0
3級	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
手帳なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
計	7	3	1	0	9	0	10	7	2	1	0	2	2	0	1	3	32	16	48	5	2	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
30歳～39歳	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1	5	3	1	0	0
40歳～49歳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0
50歳～59歳	1	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	7	1	0	1	0
60歳～65歳	1	0	0	0	6	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	13	0	13	0	0	0	0
65歳～70歳	0	1	1	0	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	9	0	1	0	0
70歳以上	1	1	0	0	1	0	3	2	0	1	0	2	0	0	0	0	5	6	11	1	0	0	0
計	7	3	1	0	9	0	10	7	2	1	0	2	2	0	1	3	32	16	48	5	2	1	0

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳は1級から3級、療育手帳はA・Bで区分

平成29年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	28歳4ヶ月	78歳9ヶ月	59歳11ヶ月	61歳
女性	32歳9ヶ月	86歳9ヶ月	63歳3ヶ月	

3. 上限月額徴収額

平成29年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	47
2	37,200	1
合 計		48

4. 食費等徴収額

平成29年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	7	13	45,201	3
2	4,100	1	14	45,231	1
3	15,926	1	15	45,596	3
4	36,354	1	16	45,657	2
5	38,178	1	17	45,809	7
6	39,780	1	18	48,241	1
7	40,732	1	19	49,518	1
8	40,884	1	20	49,730	1
9	42,282	1	21	50,977	1
10	42,981	1	22	52,770	1
11	44,501	1	23	53,500	9
12	44,684	1	合 計		48

5. 障害程度区分

平成29年3月31日現在

区分	男	女	計
3	3	0	3
4	4	3	7
5	7	4	11
6	18	9	27
合 計	32	16	48

平均障害程度区分 5.3

6. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
退 所	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
在籍者数	33	16	33	16	33	16	34	16	33	15	33	16	33	16

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	5
在籍者数	33	16	33	16	33	16	33	16	32	16			

7. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,462日	9日	7日	16日
5月	1,477日	16日	26日	42日
6月	1,460日	10日	0日	10日
7月	1,506日	10日	34日	44日
8月	1,426日	25日	62日	87日
9月	1,414日	9日	34日	43日
10月	1,434日	3日	82日	85日
11月	1,358日	2日	110日	112日
12月	1,414日	16日	89日	105日
1月	1,460日	23日	36日	59日
2月	1,369日	3日	0日	3日
3月	1,501日	3日	12日	15日
合計	17,281日	129日	492日	621日

8. 金銭管理状況

前年度延べ日数 17,654日

	男	女	計
全て自己管理	5	3	8
一部自己管理	8	5	13
全て施設管理	14	7	21
家族が管理	4	0	4
成年後見人	1	1	2
計	32	16	48

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

平成29年3月31日現在

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	48日	5人	11月	45日	6人
5月	47日	5人	12月	55日	7人
6月	48日	5人	1月	57日	7人
7月	46日	5人	2月	67日	8人
8月	45日	5人	3月	75日	9人
9月	41日	5人			
10月	39日	6人	合 計	613日	10人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町・黒潮町

前年度延べ日数 804日

2. 障害程度区分

平成29年3月31日現在

区分	男	女	計
2	0	0	0
3	4	2	6
4	0	0	0
5	1	0	1
6	2	1	3
合 計	3	3	10

平均障害程度区分 4.1

短期入所

1. 利用実績

月 別	受託市町村数	利用実人数	延べ日数	月 別	受託市町村数	利用実人数	延べ日数
4月	5	10人	85日	11月	6	8人	73日
5月	5	9人	76日	12月	7	11人	49日
6月	4	10人	78日	1月	4	8人	39日
7月	5	10人	84日	2月	6	7人	53日
8月	6	10人	82日	3月	9	11人	78日
9月	5	10人	63日				
10月	8	13人	69日	合 計	受託先10	22人	829日

※支給決定市町村：南国市・高知市・土佐市・須崎市・佐川町
越知町・津野町・中土佐町・四万十町・黒潮町

前年度延べ日数 698日

2. 障害支援区分

平成29年3月31日現在

区分	男	女	計
2	0	0	0
3	2	1	3
4	4	0	4
5	1	0	1
6	5	1	6
合 計	12	2	14

平均障害程度区分 4.7

日中一時支援（タイムステイ）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
5月	2日	2人	12月	5日	3人
6月	2日	1人	1月	4日	3人
7月	4日	2人	2月	1日	1人
8月	2日	1人	3月	2日	1人
11月	2日	1人	合 計	24日	3人

※ 支給決定市町村：中土佐町・四万十町

前年度延べ日数 28

2. 障害程度区分

平成29年3月31日現在

区分	男	女	計
2（児童）	0	1	1
3	1	0	1
4	0	1	1
合 計	0	2	3

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
平成28年 4月 2日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共に、ご利用者・職員との親睦を深めるとともに、近隣部落の方々と交流を図る。
平成28年 5月10日 平成28年 9月 7日 平成29年 2月 9日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
平成28年 8月 5日	オイコニア夏まつり	屋外	1回	ご利用者・ご家族・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
平成28年12月17日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご家族を招き、ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
平成28年 1月20日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供をするとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、毎週火・金曜日に自治会で買い物注文の受付をしてもらい、職員が代わって買物を行った。

(園内喫茶)

毎週木曜日に由菜の里に出張喫茶を開店してもらっている。また、毎回あしたの会からボランティアとして介助や片付け等の協力をしてもらっている。

(整容)

美容院・理髪店へは、ご利用者の希望に応じ対応を行った。一方、外出できないご利用者には、美容院と理髪店の方に月1回来ていただき、カットや髪染め・パーマなどの施術をしてもらっていたが、ご利用者より他の美容院での施術の希望があったため、町内の他の美容院にも依頼をし、月1回来所してもらうこととなった。

(単独外出)

単独外出が出来るご利用者については、安全面など留意点を話し合い、本人の希望を尊重し外出してもらった。

2. 外出行事

実施日	行き先等	参加人数	実施日	行き先等	参加人数
4月	外食 [四万十町]	7	11月	魚釣り [中土佐町]	2
5月	ショッピング [四万十市]	6		外食 [代替] [黒潮町]	4
	障害者スポーツ大会 [高知市]	3		みかん狩り [佐川町]	8
6月	ボーリング [高知市]	8	12月	ショッピング [高知市]	6
	パチンコ [須崎市]	4		ときめきクリスマス [四万十町]	4
7月	ブルーベリー狩り [四万十町]	13	1月	初詣 [四万十町]	4
8月	サーカス [高知市]	6		ショッピング [いの町]	3
		他施設交流大会 [香美市]	3	2月	いちご狩り [南国市]
9月	バーベキュー [四万十町]	9	3月	ぶらり旅 [高知市]	4
10月	外食 [中土佐町]	9		合計 26回	

<外出について>

平成29年3月31日現在

	男 (人)	女 (人)	計 (人)
自己決定で単独外出している	3	2	5
自己決定で付き添って外出している	23	11	33
外出について意思表示が困難	7	3	10
計	33	16	48

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内容
平成28年5月26日	入所者：42名 通所者：2名 短期：2名 職員：18名 計64名	訓練室を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。
平成28年8月25日	入所者：42名 通所者：2名 短期：2名 職員：14名 計60名	昼間の地震を想定し、避難を行う。
平成28年10月27日	入所者：41名 通所者：2名 短期：1名 職員：17名 計61名	夜間に地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定をし、通報・消火・避難を行う。
平成28年12月22日	入所者：40名 通所：3名 短期：1名 職員：13名 計57名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
平成29年1月26日	入所者：38名 通所者：4名 短期：1名 職員：16名 計59名	夜間の地震を想定し、避難を行う。
平成29年3月9日	入所者：38名 通所者：4名 職員：16名 計58名	せせらぎ通り汚物処理室を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。

実習生受け入れ状況

近年、福祉施設への従事者が激減している中、自ら当施設への実習を希望される学生もおられ大変ありがたことである。また、実習で受け入れた学生が興味を抱き、当施設で働くこととなったことは嬉しい限りである

本年度も、今まで以上に育成校や実習生との意見交換や個々の気持ちの聞き取りを行い、出来る限り要望に沿えるよう実習プログラムを立てた。老人施設と障害者施設とのあきらかな違いを生徒も認識しており、障害者施設における支援のあり方や楽しみなどについても理解を深めてもらった。また、職員は、実習生を通して、日頃のケアのあり方や福祉施設職員としてのあり方などを見直すことができ、サービスの質の向上につながっている。

今後も学校と連携を密にとりながら、実習生それぞれの個性を尊重した指導育成を心掛けるとともに、実習生を通して職員全体の意識向上にも努めたい。

平成福祉専門学校

開催月日	内 容	人 数
平成28年 6月13日～7月16日	第3段階	3名
平成28年10月17日～10月28日	第1段階	3名
	合 計	6名

高知県立大学

開催月日	内 容	人 数
平成28年 8月 9日～9月 2日	介護実習Ⅱ-②	3名
平成29年 2月14日～3月20日	介護実習Ⅲ-③	3名
	合 計	6名

<介護職員初任者研修>

平成28年度介護職員初任者研修演習指導依頼をしまんと町社会福祉協議会より受け実施した。しまんと町社協の受講生は、ほとんどの方が福祉施設において介護者として従事されており、同事業所からの受講生も多く、対象となるご利用者を想像しながらの研修となった。

また、演習指導担当者として、生活支援員もそれぞれが目的意識をもち指導者としての役割を果たし、今一度福祉施設職員としての自信と誇りをもたせてもらえることもでき有意義なものとなった。

開催月日	内 容
平成28年11月11日	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月12日	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月14日	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月15日	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月17日	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月18日	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
平成28年11月21日	介護過程の基礎理解
平成28年11月22日	総合生活支援技術演習

日常生活活動に対するリハビリの状況

居室やリハビリ室におけるリハビリに加え、他職種からの情報を元に実際場面に介入し、生活動作訓練や環境面の調整等を行った。車椅子や装具については、身体機能・生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。今年度は、作業を分担して取り組める創作活動として、ちぎり絵を実施。可能な作業をできるだけ多くのご利用者が役割として行えるよう環境を整え、月ごとに目標を設定しながら、リハ室としてひとつの作品を完成させた。完成した作品は、季節ごとにデザインを変えながら廊下に展示し、季節感を感じて頂けるような工夫をした。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

作業所利用しているご利用者に対し、モチベーション維持の目的で定期的に聴き取りを行った。目標設定は具体的に設定し、達成感が得られやすいよう工夫した。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。例年同様、日中活動の時間を利用し、専門学生による創作活動を実施。自助具や作業方法の工夫を行い、自力で行える環境設定の中で、創作活動だけでなく交流の場も提供することができた。通所ご利用者等、これまで参加したことのなかった方の参加を促すことができた。

4. 自助具等福祉用具の提案作成

日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成・修繕を行った。ご利用者や生活支援員を中心に聞き取りと確認を実施。必要な場合には、購入、申請を促した。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して提案した。購入を検討する際、リハ室に準備してある自助具を使用することで、生活場面で実際に検討することができた。必要な場合には、業者に相談し、オーダーメイドの自助具を作成依頼した。

5. リハビリ実施状況

平成28年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者47名、通所者8名、短期入所者7名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～4回、自主トレーニング可能な方は週3～5回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計2～19名、平均5.3名である。

食生活支援の状況

1. 食生活の状況

今年度もご利用者に喜ばれる豊かで安全な食事作り、3食カフェテリア方式での選択食の実施を行った。旬の食材や地元食材の使用、ご利用者のニーズやリクエストには出来るだけ応えた献立作成を実施し概ね満足 of いく食事の提供が実施できたと考える。

また給食食材管理においては、食品全般の価格アップの改定は継続している状況ではあるが、食材、献立の見直し、変動する食数への細やかな食材量の変更を実施し節約に努めた。来年度も献立内容の質は落とすことなく、市場の状況に合わせた柔軟な対応を実施していくことが求められる。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。来年度も加齢や障害の進行などによる食事摂取状態の変動が予測されるため、体調に合わせた計画の作成、多職種と連携した支援を行い重症化を防いでいく。

また食事摂取基準に基づいた献立の作成、身体的機能に応じた食事の提供（治療食、ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）に努めた。加齢や障害の重度化により個々の特性が一層多様化しており個々に合わせた食事形態の提供や質の向上が重要である。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年2回）、残渣調査（計量）の結果、また、日常的にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 5月 大人のお子様ランチ 9月 小さい秋みつけた
2月 バレンタイン

・28年度の主な行事食

4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当
8月 夏まつり
12月 クリスマス年忘れ会（皿鉢・寿司・たたき・クリスマスケーキなど）
1月 おせち料理・新年会（皿鉢・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら今年も取り組みを行ったが、今年度は急性心不全にて2名、誤嚥性肺炎で2名のご利用者が死亡された。

近年、精神障害の入所者が増加し、さらに入所中のご利用者にも内服調整の為精神科受診回数が増えた。今後も、精神疾患のご利用者の新規入所が考えられる為、周囲のご利用者の影響も考慮し専門的知識の研鑽が必要と思われる。又、急変されたご利用者も多く、緊急時の対応や連携を密に日々意識づける為研修等行っていかなければならない。

今年は、肺炎や骨折、新規入所された精神障害のご利用者の不穏傾向が強く入院日数は前年度を上回った。引き続き対応には注意し健康で過ごせるよう日々状態把握に努める。

今年度もインフルエンザワクチンの混合接種を11月～12月にかけて全ご利用者、職員を対象に実施するとともに、施設内感染の予防対策として、全職員に周知徹底するなど衛生管理の強化を行ったことで、インフルエンザやノロウィルスの感染を予防することができた。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	園内消毒
5～6月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血） ※採血は4～3月まで分散して2回／年実施 職員健康診断の実施（胸部レントゲン・採血・検尿）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者・職員（夜勤者のみ）の健康診断の実施（検尿・採血）社会保険による検診
10～12月	季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導。 嘱託医師にて2回／週（水・土）に定期受診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	37人	80回	外 科	3人	4回
内 科	5人	8回	脳 神 経 外 科	5人	26回
泌 尿 器 科	8人	29回	神 経 内 科	3人	11回
整 形 外 科	4人	16回	精 神 科	5人	26回
皮 膚 科	3人	7回	眼 科	5人	13回
婦 人 科	1人	1回	総 合 診 療 科	0人	0回
耳 鼻 科	2人	5回	胃 瘻 交 換	7人	13回
消 化 器 科	0人	0回	合 計	88人	239回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
外 科	人	人	0日
内 科	3人	4人	148日
脳 神 経 外 科	人	人	0日
泌 尿 器 科	人	人	0日
精 神 科	3人	4人	299日
形 成 外 科	人	人	0日
整 形 外 科	1人	1人	53日
合 計	7人	9人	500日

4. 特別な医療行為者数

区 分	人 数	
気 管 切 開 の 処 置	1 人	
経 管 栄 養	経 鼻	0 人
	胃 ろ う	7 人
バルンカテーテル	10 人	
合 計 (重 複 者 あり)	18 人	

平成29年3月31日現在

【相談支援事業所オイコニア】

平成28年度も四万十町役場健康福祉課や各事業所と連携しながら、計画作成などに取り組んできた。

平成29年3月末現在、特定相談で受けている方は47名で、四万十町から委託されている一般相談は8名である。特定相談の件数も伸びてきているが、まだサービスにつながっていない方の相談も増加傾向にある。

また、若者同士の集う場の企画である『若者のつどい』を平成28年度は1回実施した。今回は、若者同士だけでなく、家族同士も交流を図ってもらうことも目的とし、野外での活動を行った。協力者は、オイコニア職員だけでなく、四万十町役場健康福祉課の職員にも手伝っていただき、参加者との時間を共に楽しく過ごすことができた。これからも年2回程度実施して、交流の機会を図っていきたい。

自立支援協議会や個別支援会議へも参加し、課題検討や情報共有を行った。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導

2 相談受理件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
101	127	77	82	79	150	149	219	98	86	77	230	1,405

3 相談支援方法別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家庭訪問	13	20	11	10	13	23	13	22	13	12	7	28	185
来所による支援	6	8	6	1		3	7	6	2	1	1	2	37
同行		1	1						3			2	7
電話	59	66	52	54	43	98	64	104	39	50	38	98	700
関係機関との連携	21	19	7	12	22	21	60	65	35	23	26	96	407
個別支援会議		1							4			3	7
その他	2	12	2	5	1	5	5	22	2		5	1	62
合計	101	127	77	82	79	150	149	219	98	86	77	230	1,405

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

通所介護及び介護予防通所介護施設【デイサービスセンター緑林荘】

今年度も居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図りサービスの提供に努めた。昨年に引き続き、1日の利用定員を40名とし、ご利用者の確保に努めた。月平均実人数は前年度とほぼ同じ93名で、延べご利用者数では、前年度より71名減少し、年間では10,022名であった。今年度は夏場に利用者数が多かったが、1月から3月までの利用者数は大幅に落ち込んだ。

また、ご利用者の平均要介護度は年間1.9（男性2.3、女性1.7）と男性の要介護が高めで、要介護1と2の方が全ご利用者数の半数以上を占める結果となった。年齢別では、85歳以上が全体の7割を占め、90歳以上も全体の4割と、平均年齢が高くなっている。

緑林荘は、町より災害時の福祉避難所に指定されており、災害時に高齢者や障害者など、災害弱者を受け入れる体制づくりを進めており、丸山地区の防災訓練に協力した。

今年度も認知症ケアの基礎となる水分摂取量を確保するために、必要な水分量を確保できていないご利用者には提供の工夫など検討を行った。

通所介護計画書については、定期的な見直しを6ヶ月に1回、必要に応じ随時の見直しを行い作成するとともに、ご利用者ご家族に説明し同意が得られた計画書に基づき個別対応の提供に努めた。

また、月に1回職員会を実施し職員の情報の共有化を図り、日々業務内容の見直しを行いながらサービスを提供することでご利用者のニーズに応えることができた。

<介護予防通所介護事業・総合事業>

昨年2月から、介護認定が更新される要支援のご利用者から順次、町の総合事業に移行してきたが、今年の2月に完全に総合事業に移行した。

介護予防（総合事業）通所介護計画書は3か月毎に見直しを行い、介護予防（総合事業）支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めた。

本年度、運動器機能向上加算は取得しなかったが、百歳体操を中心に運動を行い、下肢筋力を強化する為、外での歩行訓練も積極的に取組んで行ってきた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行ってきた。結果としては、ほとんどの方が現状維持できている。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱいの状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び介護予防（総合事業）通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月	お花見弁当1回、クッキング（おやつ）2回
5月	クッキング（おやつ）2回
6月	クッキング（おやつ）2回
7月	第10回りよくりん交流会、救急法、クッキング（おやつ）2回
8月	クッキング（おやつ）2回
9月	クッキング（おやつ）2回
10月	クッキング（おやつ）2回
11月	クッキング（おやつ）2回、避難訓練
12月	クリスマス会1回、年忘れ会3回・餅つき1回、クッキング（おやつ）2回
1月	新年会、クッキング（おやつ）2回
2月	クッキング（おやつ）2回
3月	自主避難訓練・クッキング（おやつ）2回

※ 敬老の日に合わせてご利用者に手作りの写真カードをプレゼント

※ 8/24 川口保育所園児と交流

※ 9/20 台風により受け入れ中止

※ 10/12 東又保育所園児と交流

※ 10/25 松葉川保育所園児との交流

※ 12/7 川口保育所園児と交流

(2) 機能訓練とレクリエーション

個別対応を基本とし、選択肢できるメニューの提供を毎回実施できた。午前中は月間プログラムをたてゲームの提供を行うとともに、運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。季節の風景を見ながら気分転換を図る方や、下肢力の補強にと目的をもち毎回休まず参加する方も増えた。百歳体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図ることができた。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。手芸やオセロゲーム、囲碁、将棋、俳句、短歌作りなど幅広く活動が行われた。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めた。特にペンシルパズルが人気を集めた。

(4) その他

四万十清流消防署協力のもと避難訓練と消火訓練を行い、防災意識の向上を図った。

3 年齢別登録者数集計表

平成29年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	1名	0名	1名
6 5 歳 ～ 6 9 歳	0名	1名	1名
7 0 歳 ～ 7 4 歳	1名	3名	4名
7 5 歳 ～ 7 9 歳	4名	4名	8名
8 0 歳 ～ 8 4 歳	6名	7名	13名
8 5 歳 ～ 8 9 歳	3名	29名	32名
9 0 歳 ～ 9 4 歳	5名	26名	31名
9 5 歳 以 上	3名	7名	10名
合 計	23名	77名	100名

※ 最高齢は102歳2ヶ月の女性（要介護3）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（平成28年3月31日現在）	85歳6ヶ月	87歳6ヶ月	87歳1か月
平均年齢（平成29年3月31日現在）	85歳4か月	88歳2ヶ月	87歳5か月

4 要介護別利用実績集計表（平成28年4月～平成29年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311
1日平均利用者数	33.23	34.04	34.73	34.54	33.48	32.77	32.46	30.54	32.90	30.88	28.20	28.56	32.19
事 業 対 象	7	8	8	9	9	9	10	14	11	11	8	11	115
要 支 援 1	46	42	41	41	33	37	38	32	47	45	38	44	484
要 支 援 2	36	37	46	42	44	41	40	44	44	37	36	63	510
要 介 護 1	176	184	193	204	223	210	217	229	262	259	264	295	2,716
要 介 護 2	327	324	324	318	305	282	251	221	244	173	155	141	3,065
要 介 護 3	101	128	125	129	128	129	111	96	117	96	79	109	1,348
要 介 護 4	107	103	104	90	98	97	117	100	104	72	56	61	1,109
要 介 護 5	64	59	62	65	64	47	60	58	60	48	41	47	675
延べ利用者数	864	885	903	898	904	852	844	794	889	741	677	771	10,022

（平成27年度 延べ利用者数 10,093名）

通所介護及び介護予防通所介護施設【デイサービスセンターさくら貝】

平成28年4月から地域密着型通所介護へと変更となり、行政や地域住民、ご利用者代表やご家族の参加のもと第1回運営推進会議を開催し、さくら貝の運営状況などの報告を行った。活発な意見や要望などを受け、地域のニーズ把握にもつながり、より地域に密着したサービスの提供に努めることができた。

ご利用者の状況については、自宅での転倒等による長期入院者が多数でている。また、死亡や転出などによる利用の廃止もあるが、新規利用者もあり登録者数は昨年度より増えている。

地域との関わりについては、地元の小・中学校・隣接する保育所との交流が活発であり、ふれあいの機会が多くあった。特に保育所とは合同でのコンサートやチェロ演奏、和太鼓演奏など、ともに楽しむことができた。合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで危機意識も高まっている。

第2回さくら貝交流会もアットホームな雰囲気の中実施し、ご自宅での介護に関する悩みや相談なども受け、ともに考えることができた。また、さくら貝でのサービス内容や利用時のご利用者の様子などもより知っていただくことができた。

介護予防（総合事業）については、百歳体操やストレッチ体操、レク、手芸、園芸活動などを継続することで、身体機能の維持、向上を目指した取り組みを行った。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護及び介護予防通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 行事内容

四季折々にご利用者の楽しみに合わせた行事を行った。

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当(1回)、クッキング(おやつ) 2回
5月	興津保育園合同避難訓練、歌謡ショー、母の日週間、クッキング(おやつ) 2回(昼食) 2回
6月	父の日週間、クッキング(昼食) 2回(おやつ) 2回
7月	クッキング2回(昼食)(おやつ) 2回
8月	かき氷サービス週間、クッキング(おやつ) 2回
9月	歌謡ショー、敬老の日週間、クッキング(昼食) 2回、クッキング(おやつ) 2回
10月	興津保育園合同避難訓練、クッキング(昼食) 2回クッキング、(おやつ) 2回
11月	クッキング(昼食) 2回、クッキング(おやつ) 2回
12月	ゆず湯週間、もちつき、忘年会2回、クッキング(おやつ) 2回
1月	クッキング(昼食) 2回、(おやつ) 2回
2月	さくら貝交流会、豆まき、クッキング(昼食) 2回、クッキング(おやつ) 2回
3月	クッキング(昼食) 2回、クッキング(おやつ) 2回

(その他)

- * 誕生日、敬老の日に手作りのカードをプレゼント
- * 母の日、父の日に手作り記念品のプレゼント

(2) レク内容

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には頭の体操や卓上でのレクを実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) ボランティア来園状況

- 5月19日 池田宗平様による歌謡ショー (出演者14名)(地域の方17名)
- 9月 8日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー (出演者8名)(地域の方16名)
- 12月26日 もちつき(興津保育園児、父兄3名)
- 4月～3月 毎週水、金(1名登録者)

(4) 保育所との交流

- 5月31日 合同避難訓練・消火訓練・防災ビデオ鑑賞
- 6月14日 合同ミニコンサート
- 7月 4日 七夕飾りつけ
- 7月16日 合同和太鼓演奏会
- 9月17日 お楽しみ敬老会
- 10月22日 秋の運動会
- 10月28日 合同避難訓練・消火訓練・防災ビデオ鑑賞
- 12月12日 クリスマスツリー飾りつけ
- 12月16日 クリスマスコンサート
- 12月27日 もちつき
- 2月25日 合同交通安全講習会
- 3月 8日 合同チェロ演奏会
- 3月11日 卒園お別れ会、卒園児プレゼント贈呈(4名)

(5) 小中学校との交流

- 12月 8日 興津中学校全校生交流学习(9名)
- 2月 8日 興津中学校卒業生卒業プレゼント贈呈(5名)
- 3月 8日 興津小学校卒業生卒業プレゼント贈呈(6名)

3 年齢別登録者数集計表

平成29年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0名	0名	0名
6 5 歳 ~ 6 9 歳	0名	0名	0名
7 0 歳 ~ 7 4 歳	0名	1名	1名
7 5 歳 ~ 7 9 歳	0名	2名	2名
8 0 歳 ~ 8 4 歳	1名	1名	2名
8 5 歳 ~ 8 9 歳	2名	10名	12名
9 0 歳 ~ 9 4 歳	1名	4名	5名
9 5 歳 以 上	0名	1名	1名
合 計	4名	19名	23名

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (平成29年3月31日現在)	84歳9ヶ月	86歳0ヶ月	85歳8ヶ月
最 高 齢 (平成29年3月31日現在)	90歳	95歳	

4 要介護別利用実績集計表 (平成28年4月~平成29年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	26	26	26	27	25	26	26	27	24	24	27	310
1日平均利用者数	7.19	7.77	7.58	8.35	7.70	8.20	7.23	7.42	7.74	7.92	8.13	7.81	7.8
要 支 援 1	8	8	10	4	5	4	4	4	4	8	8	6	73
要 支 援 2	17	13	19	26	15	8	16	15	13	8	20	21	190
要 介 護 度 1	34	52	56	68	50	67	69	63	72	63	46	61	701
要 介 護 度 2	58	60	52	43	60	60	59	62	63	61	79	77	734
要 介 護 度 3	28	25	25	38	37	34	16	22	44	39	37	49	391
要 介 護 度 4	42	44	35	38	41	32	24	27	13	11	5	0	312
要 介 護 度 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ利用者数	187	202	197	217	208	205	188	193	209	190	195	211	2,402

(平成27年度 延べ利用者数 2,363名) 内身障49

【四万十町地域包括支援センターブランチさくら貝】

四万十町の委託により、地域包括支援センター興津支部としての事業を実施した。高齢者やその家族、地域からの電話や来所による相談、家庭訪問による聞き取り等を行ない、生活機能低下により援助を必要としている人の支援に繋げた。また、地域の商店、行政機関、社会資源等からも情報収集し高齢者の状況把握を行なった。

平成29年3月末をもって職員態勢が整うまでしばらく休止となる。

1 事業内容

- (1) 住宅改修希望の要支援者に対し、業者への連絡・調整、現地確認、理由書等必要書類の作成
- (2) 地域の集まり（宅老所）に出向き、血圧測定や啓発活動を実施
- (3) 要介護認定等、介護保険にかかる書類の申請代行
- (4) 介護支援専門員等からの要請にて、見守り訪問や同行訪問の実施
- (5) 地域包括支援センター連絡会への参加 ブランチの活動報告、情報交換の実施
- (6) 防犯カレンダー、ブランチ業務内容や健康管理に関するチラシやパンフレット、さくら貝新聞の配布を実施

2 実施状況一覧

	相談件数	実態把握件数
4月	24	2
5月	25	9
6月	28	13
7月	36	15
8月	16	4
9月	24	6
10月	24	2
11月	37	11
12月	16	3
1月	26	7
2月	36	5
3月	24	5
合計	316	82

【居宅介護支援事業所りょくりん】

平成28年度はご利用者の契約状況は安定していたが、自宅での介護が大変になり更新認定で要介護3になれば特別養護老人ホームに入所申請を希望されるご家族が増えてきている。施設には空きが無い状態である為、すぐの入所ができず、今後は、ご本人のみではなく同居されているご家族の健康状態も気に掛けながら、ショートステイ等も紹介し、様々なサービスを定期的に利用することで、ご本人、ご家族、双方に負担が軽減し、自宅生活が送れるよう支援していく必要性が出てきている。

又、独りで生活をされているご利用者の状態も細かく把握し、家族や親類への連絡も今まで以上に必要になっていくと思われる。

要支援者については平成28年2月より総合事業の開始により通所介護、訪問介護を利用されているご利用者一人あたりの金額が下がり要支援での件数は変わらないが収入が少なくなっている。

今後も各サービス事業所や家族、親類とも連絡を取り合いながら、ご利用者がその人らしく自宅で生活が送れるよう支援していく。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 月別事業内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	3	2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	2	23
要支援2	9	8	9	9	8	10	10	10	10	10	10	11	114
要介護1	8	11	10	11	10	10	12	12	12	14	12	11	133
要介護2	8	6	8	7	7	7	8	7	7	9	7	8	89
要介護3	4	4	5	6	5	5	5	5	4	4	4	3	54
要介護4	4	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	2	52
要介護5	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	1	2	21
合計件数	38	38	40	42	39	39	42	43	41	45	40	39	486
新規利用	0	1	0	1	0	0	2	0	1	2	1	0	8

* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定の申請代行	5	3	3	3	2	2	7	0	4	4	3	3	39
入院・入所件数	2	1	1	4	3	0	2	2	1	2	1	4	23
退院・退所件数	0	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	14
住宅改修	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2

3 その他

四万十町ケアマネージャー連絡会

四万十町地域ケア会議

介護予防プラン作成に関する研修会

《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

今年度は、新任職員研修をはじめ、法人研修として外部講師を招き「人づくりを学ぶ」をテーマとして人材育成の基本と実践方法について学んだ。

3月には昨年引き続き社会福祉法人吾郷会（島根県）主催の研究発表大会で今回はリーダー養成研修でまとめた小論文をもとに「明成会における人づくりに関する提言」について発表を行い、高い評価を得ることができた。

① 法人研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	4月1～7日	新任職員	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能の習得を目指した。
リーダー養成研修	①5月23日 ②8月2日 ③9月12日	5名	外部講師による人材育成の基本と実践方法について「人づくりを学ぶ」をテーマに年間3回実施した。
合同研修会 (人権学習)	8月23日	全職員	映画「ツレがうつになりまして」のDVD上映会を開催し、人権について学んだ。

② 事業所研修

【 オイコニア 】

開催日	内 容
4月20日	経営理念について グループディスカッション
5月18日	リスクマネジメント 危険予知トレーニング
6月15日	手話教室
7月20日	救急法について
8月17日	手話教室
9月21日	夜間救急対応について
10月19日	手話教室
11月16日	感染症について
12月21日	各委員会中間報告
1月18日	工夫改善検討（服薬方法について）
2月15日	フラワーアレンジメント
3月15日	虐待防止について グループディスカッション

【緑林荘・居宅りよくりん】

	内 容
4月	マニュアルの見直し
5月	介護技術基本動作
6月	ノロウイルス対応と実践、食中毒発生まん延防止
7月	認知症ケア、救急法（さくら貝と合同）
8月	倫理及び法令遵守、高齢者虐待防止
9月	事故予防、事故事例検討
10月	非常災害時の対応、避難訓練
11月	介護予防
12月	個人情報保護、プライバシー保護、身体拘束
1月	食事形態と個々の嗜好、今後の改善点
2月	事故発生時の対応
3月	マニュアルの見直し、自主避難訓練

【 さくら貝 】

	内 容
4月	平成28年度事業計画、研修計画
5月	介護技術基本動作
6月	ノロウイルスの対応と実践・食中毒発生まん延防止
7月	認知症・認知症ケア
8月	非常災害時の対応研修
9月	事故予防・事例検討 ヒヤリハット報告書に基づく事例検討
10月	倫理及び法令遵守、高齢者虐待防止
11月	介護予防に関する研修
12月	プライバシーの保護・個人情報保護、身体拘束
1月	食事形態と個々の嗜好、今後の改善点
2月	ヒヤリハット報告書に基づく事例検討・事故発生緊急時の対応
3月	マニュアル見直し、机上避難訓練

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。引き続き各事業所の広報誌、ホームページやフェイスブックについてはさらに定期的な更新をおこない明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信を心がけていく。

[公益事業]

【配食サービス事業】

前年度同様に町の委託を受けて町内の高齢者の方に対し、昼夕2食の配食を行った。10月から新たに1食300円で利用できる四万十町配食サービス事業等が始まり、ほとんどのご利用者が事業に該当するなか、非該当の方にも全額個人負担を条件に契約し、配食サービスを実施してきた。徐々に配食サービスのニーズは拡大し、新規利用者が増え、待機のご利用者が出てくることとなったが、町当局と連携を図り調整することとした。前年度と比較すると1日平均10.7食増加となり安定した収入を得ることができたが、11月以降の増加が著しく見られたため、食器類の購入や来年度に向けた配達コースの見直し等検討を重ねた。

本年度もご利用者の側に立ったサービスの提供を目指し、出来るだけ細やかな対応をしていきたいと考え、月1回ご利用者のお宅を訪問し、聞き取り調査を実施するなど、ご利用者のニーズに添った形で配食ができるように行い、月1回の選択食を実施してきた。しかし、食数が増えてきたことにより3月で選択食を見直すこととした。また、常に新鮮な食材の選別や衛生管理を徹底し、安全なサービスの提供にも努めた。

配達には四万十町シルバー人材センターとの提携により4名にお願いし、3コースを交代で行った。配達の際にはご利用者の安否確認等を行い、普段の様子と変化があれば、関係機関やご家族に連絡をするなど、安心して在宅生活を送れるよう支援を行った。

月別配食集計表

	実績数			実利用者数	
	自費	公費	小計	自費	公費
4月	1,677	108	1,785	63	3
5月	1,730	103	1,833	60	3
6月	1,670	98	1,768	61	3
7月	1,595	104	1,699	63	3
8月	1,700	87	1,787	63	3
9月	1,561	101	1,662	64	3
10月	192	1,468	1,660	10	61
11月	125	1,842	1,967	7	73
12月	124	2,235	2,359	7	78
1月	126	2,119	2,245	8	77
2月	114	1,968	2,082	7	78
3月	134	2,364	2,498	7	82
合計	10,748	12,597	23,345	420	467
月平均	895	1,050	1,945	35	38.9
1日平均	29.4	34.5	63.9	—	—

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

職員宿舎（平成6年築）の今年度の平均利用率は88.9%と昨年同様の事業収入を確保できた。町内の不動産会社からの入居希望者の紹介もあり、外部利用者が増えている。

また、各部屋の老朽化が進んでいるため、計画的に建物の維持管理に努めていきたい。

月別利用状況一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
外部	6	5	4	4	5	5	4	6	6	5	5	5
空室	0	1	2	2	1	1	2	0	0	1	1	1